

御経塚の虫送り

御経塚は、押野と隣接しており、古くから「イイ」が行われているほか、かつては押野と同様に「ハタオクリ」といって「ごこくじょうじゅいなむしおく五穀成就稲虫送り」と書いた旗を道中持って歩いたといえます。

近年の御経塚の虫送りは、19時頃にさなたけ佐那武神社を出発し、太鼓を持つ青年団にたいまつを持つ子どもの一団が続き、辻等で太鼓の演舞が行われます。20時頃に御経塚史跡公園の「虫送」の火縄アーチをくぐり、大たいまつ前での太鼓の乱打が行われます。

御経塚の太鼓のバチは柳でできており、河川の近くで採取したものを加工して使用しています。枝は細長く、少し反りがあるものがしなっていて叩きやすいとされています。



御経塚の虫送り



虫送り太鼓入場の様子